

令和7年度 第1回学校関係者評価を踏まえた課題への取組み・改善の進め方

標記について、学内にて検討し、以下の方向で取組み及び改善を進めることを確認した。

1 学校の理念、教育目標

学校の理念、教育目標を点検継続しながら、方向性を明確に持って介護福祉士養成を継続する。

2 令和7年度の重点目標と達成計画

介護福祉士国家資格取得のため、一人ひとりの能力に応じ、個別の指導に力を入れていく。

3 評価項目別取組状況

基準1 教育理念・目的・育成人材像

1-1-3 評定3【理念等に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか】	
学校関係者評価委員会での意見・課題	意見・課題への取組み及び改善の進め方
特色ある教育活動の一つとして、外部講師（皮膚排泄ケア認定看護師）による褥瘡や人工肛門（ストーマ）についての授業を実施した（2年生）。 本校では、毎日14時30分で授業が終わる時間割を設定し、主婦やアルバイトをする学生たちにとっても学びやすい環境を整	皮膚排泄ケア認定看護師による特別授業は、引き続き実施していきたい。また、他の外部講師による特別授業の実施も検討していきたい。 2年生の国家試験対策講座では、ここ数年の実施状況を振り返り、さらに効果のあがるものにしていきたい。

えている。また、国家試験対策授業については、数年前から時間割の中に組み込み、1年生は後期に10回、2年生は前期に3回、後期に27回実施した。なお、今年度も合格が危ぶまれた学生に対し補講等も実施し国家試験合格率100%を目指したが、令和6年度の国家試験は2名が不合格であった。この結果を真摯に受け止め今後の学校運営に活かしていきたい	
--	--

基準2 学校運営

2-2-3 評定4【理念等を達成するための事業計画を定めているか】	
学校関係者評価委員会での意見・課題	意見・課題への取組み及び改善の進め方
6月に実施した文化祭（吉福祭）は、昨年度同様に賑やかに開催できた。また、この時期に文化祭を開催することで、高校生や保護者の方に本校の雰囲気を感じてもらうことができ、学生募集の一助にもなっている。 実務者研修の受講生は11名（令和7年度も11名）であった。また、初任者研修の受講生は3名（令和7年度は募集中）であった。	今年度の文化祭（吉福祭）も入場者を限定せずに実施できた（188名来校）。来年度の実施に向けて、より効果のあがるものにしていきたい。 実務者研修および初任者研修の受講生を増やすための策を講じたい。 ※今年度の初任者研修は、受講希望者が少なかったため研修の開講を中止した。

基準3 教育活動

3-8-2 評定3【学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか】	
学校関係者評価委員会での意見・課題	意見・課題への取組み及び改善の進め方
令和6年度に卒業した留学生は0名だった（令和7年度は4名が受験予定）。本校の留学生の特徴として、話せるが漢字が書けない学生が多い。 最近は高校でも外国籍の生徒が増えてきており、日本語支援員を配置している学校もあるが、御校での留学生への指導（支援）方法は。 とにかく漢字を書かせる、読ませる。地道な指導に尽きます。	引き続き実施している留学生向けの日本語教育講座（週2回）の手応えを感じられている。令和7年度は4名の留学生が国家試験を受験予定であり、引き続き留学生への学習面でのサポートを充実させていきたい。

3-9-3 評定3【キャリア教育を実施しているか】	
学校関係者評価委員会での意見・課題	意見・課題への取組み及び改善の進め方
キャリア教育の実施として、2年生の「チームマネジメント」の授業で、今年度は介護老人福祉施設職員（介護福祉士）、介護支援専門員、就労継続支援B型管理者の方から講義を受けた。 学校の授業では、高齢者に対する学びや体験は多いが、障害者への触れ合いなどの機会は少ないと思うので、学生のうちからボランティア活動や実習などで、障害者への学びを深めていってもらえたらと思います。 検討していきます。	今後も、外部講師（施設長や卒業生など）によるキャリア教育の実施を継続していきたい。また、障害者への学びを深める取り組みも進めていきたい。 （注）カリキュラムの中に「障害の理解」等があり、実習先でも様々な障害者施設がある。

3－10－2 評定4【作品及び技術等の発表における成果を把握しているか】	
学校関係者評価委員会での意見・課題	意見・課題への取組み及び改善の進め方
卒業研究発表会は、前年度に引き続き学生と教職員のみで実施した。	今後は、非常勤講師や介護施設の実習担当者にも卒業研究発表会に参加してもらう体制を築きたい。

3－11－2 評定4【資格・免許取得の指導体制はあるか】	
学校関係者評価委員会での意見・課題	意見・課題への取組み及び改善の進め方
国家試験対策として、今年度も毎日1日1問、学生同士でホワイトボードに問題を出し合っている。	国家試験合格率100%に向けて、引き続き策を講じていきたい。

3－12－2 評定3【教員の資質向上への取組を行っているか】	
学校関係者評価委員会での意見・課題	意見・課題への取組み及び改善の進め方
今年度も規定どおりの教員の人数を確保しているが、将来的には専任教員の人数をもう1名増やしたいと思っている。	看護師免許を有する専任教員が今年度の9月末に退職し、代わりの専任教員の採用がまだできていない。早急に対応したい。

基準4 学修成果

4－13－1 評定4【就職率の向上が図られているか】	
学校関係者評価委員会での意見・課題	意見・課題への取組み及び改善の進め方
就職率は96.7%であった（卒業生31名中30名が就職）。未就職の1名は家庭の事情により未就職である。 特養や老健、デイサービス等への就職者が多いようだが、介護実習先へ就職する学生が多いのか。 近年、在学中にお世話になった介護実習先に就職を希望する学生が増えたように感じる（約5割程度）。本校は、大きく分けて3回（1年生の8月と2・3月、2年生の8・9月）の介護実習があり、昔は2年生の最後の介護実習終了後に就職先を決める学生も多かったが、最近は1年生で実施する2回の実習で、就職先の分野（特養や老健等）を絞り、2年生の比較的早い時期に就職の内定をもらう学生も多く、学校としても早めの就職活動を推奨している。就職先を選ぶ理由は学生の年齢等によっても違ってくるが、比較的給与面よりも身体的にきつくないところ（日勤帯のみの施設）への希望者も増えている。また、土日はお休みできるのか、希望休は取れるかなど、休みを重視している学生も多い。なお、一人暮らしを希望する学生は少ない。 国家試験に不合格になった学生が内定取り消し等になったケースはあるのか。 今のところそのようなことは起きていないが、今後、介護福祉	今年度は、現時点で就職先を内定している学生も多く、100%の就職率を目指したい。

士国家試験の不合格者に対する経過措置がなくなった時には、起こりえるかもしれない。 介護施設も職員の高齢化が進んでいるため、若い介護職員の育成の一端を担う養成校には今後もがんばってもらいたい。	
---	--

4－1 4－1 評定3【資格・免許取得率の向上が図られているか】	
学校関係者評価委員会での意見・課題	意見・課題への取組み及び改善の進め方
令和6年度は国家試験の不合格者が2名あったため、評定を4から3に下げた。 国家試験に不合格になった卒業生へのサポートはどうしているのか。 不合格になった卒業生には、模擬試験等の案内を積極的に行うなど、引き続き支援をしていきたい。	令和6年度は2名が国家試験に不合格だったため、今年度は100%合格を目指す。

基準5 学生支援

5－1 7－1 評定3【退学率の低減が図られているか】	
学校関係者評価委員会での意見・課題	意見・課題への取組み及び改善の進め方
令和6年度の退学者は1名であった。退学理由は体調不良である。今後も中途退学者防止のため、当該学生の早期発見・早期指導等に努めていきたい。	令和6年度は退学者が1名であったが、今年度は3名である（1月6日現在）。引き続き退学・休学の要因（欠席状況・学習態度・交友関係等）を早期に把握し、学生支援に取り組んでいく。

5－18－2 評定4【留学生に対する相談体制を整備しているか】	
学校関係者評価委員会での意見・課題	意見・課題への取組み及び改善の進め方
令和6年度の留学生の在籍者数は、2年生が0名、1年生が4名である。なお、令和7年度の留学生の在籍者数は、2年生が4名、1年生が7名である。	今後も留学生の学習面、生活面のサポートを充実させていきたい。

5－19－1 評定4【学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか】	
学校関係者評価委員会での意見・課題	意見・課題への取組み及び改善の進め方
授業料等減免制度利用者は33名（1年生12名、2年生21名）、高等教育の修学支援新制度利用者は6名（1年生2名、2年生4名）、介護福祉士修学資金貸付制度利用者は29名（1年生13名、2年生16名）である。	高等教育の修学支援制度や介護福祉士修学資金貸付制度について、対象者や制度の内容等、学生理解を深めていきたい。

基準6 教育環境

6－23－1 評定4【学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか】	
学校関係者評価委員会での意見・課題	意見・課題への取組み及び改善の進め方
令和5年度までは新型コロナウイルスの影響で介護実習の一部を学内実習に変更して実施してきたが、令和6年度は全ての介護実習を学外にて実施した。	引き続き、学外での介護実習を実施していきたい。

基準7 学生の募集と受け入れ

7-25-2 評定4【学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか】	
学校関係者評価委員会での意見・課題	意見・課題への取組み及び改善の進め方
令和3年度からの三か年は定員充足率が8割を超えたが、令和6年度からの二か年は7割を切っている。毎年8割以上の定員充足率を目指したい。 学納金を値上げしたことでの学生募集への影響はあったのか。 学納金の値上げには不安な部分もあったが、値上げ幅を他校の学納金と比較しながら設定したこともあり、影響は少なかったように思える。 本校（高校）の生徒の進路先は、進学が約7割、その他の3割が就職である。介護分野に直接就職をした生徒も過去にはいたが、最近はいない。	令和7年度の全国の介護福祉士養成校（272校）の定員充足率は66.9%（昨年度は58.8%）と、昨年度より若干上がった。しかし、入学者の内訳をみると、新卒者等は昨年度よりも約150名程度減り、留学生の入学者数が約1,000名程度増えた。介護福祉士養成校の学生募集は引き続き厳しい状況である。なお、本校の今年度入学生の定員充足率は67.5%（昨年度は62.5%）であった。 本校の次年度に向けた学生募集活動は一定の効果が見込めそうではあるものの、来年度も引き続き厳しい状況が想定され、今後職業訓練生の受け入れを含め、積極的な募集活動に努めていく。

7-27-1 評定4【経費内容に対応し、学納金を算定しているか】	
学校関係者評価委員会での意見・課題	意見・課題への取組み及び改善の進め方
令和7年度入学生より、学納金を値上げすることとした。	昨今の物価高騰をはじめとする学校を取り巻く状況を総合的に勘案し、教育環境の維持や施設設備の充実、さらなる教育の質の向上を図るために、令和7年度入学生から学納金の一部を値上げした。

基準 8 財務

8－2 8－1 評定 4 【学校及び法人経営の中長期的な財務基盤は安定しているか】	
学校関係者評価委員会での意見・課題	意見・課題への取組み及び改善の進め方
法人全体として令和 6 年度は赤字決算となった。	法人全体としても厳しい決算となったが、引き続き学校単体での黒字化を目指すとともに、教職員の待遇等についても改善に努めたい。

基準 9 法令等の順守

特になし

基準 1 0 社会貢献・地域貢献

特になし